

広報

かわいし

祝
十日町高校
甲子園出場

NO. 516

平成13年8月10日



育て！
わかぶな



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL0257-68-3111 FAX0257-68-3828

発行・編集 川西町役場総務課 E-Mail:kawanisi@mail.tiara.or.jp (毎月10日発行)

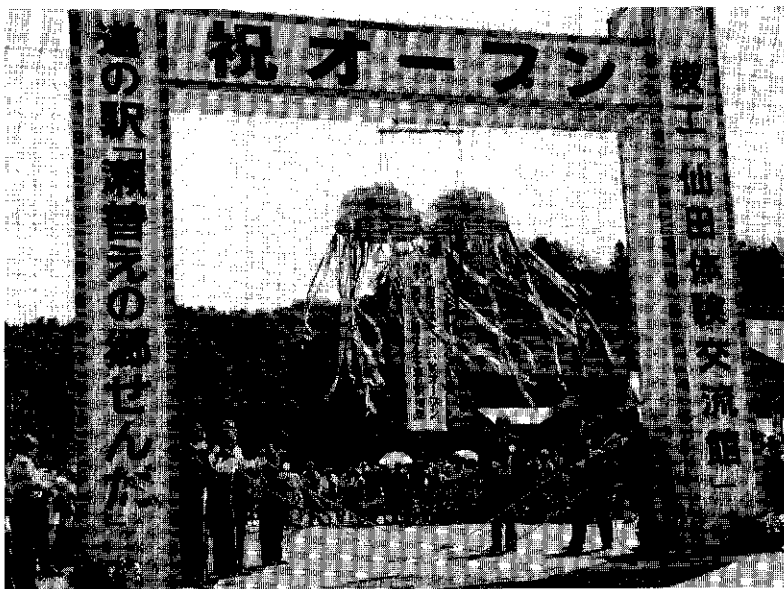
URL <http://www.town.kawanishi.niigata.jp/>

人口の動き

—8月1日現在—

男	4,087	(-2)
女	4,188	(-8)
計	8,275	(-10)
世帯数	2,302	(+2)

() は前月比較



♠ 表紙の写真 ♠

7月26日に、ブナ造林地及び二六公園で「森林体験教室（緑の学校）」が開催されました。参加したのは、橘緑の少年団（橘小学校5.6年生）36名と林業に関係する人たちで、ブナ造林地の下刈りや森林教室を通して、体と頭から森の大切さを学びました。

下刈り作業では、真新しい軍手と鎌を手にした緑の少年団員が、雑草や蔓などブナの生育の妨げになるものを刈払いました。

大きな草刈り鎌を手にするのは初めての団員が多く、扱いに悪戦苦闘しながらも、少しずつブナの幼木のまわりをきれいにしていきました。

彼らが青年になり壮年になる頃、「ブナ造林地」は、若く美しい「ブナの森」へと成長していることでしょう。

地域の思いを乗せて

仙田体験交流館キラリ &

道の駅「瀬替えの郷」

発進！



七月十五日、地域発展の拠点として期待されている仙田体験交流館キラリがオープンしました。また、県内で二十七番目の道の駅「瀬替えの郷」だとしてもスタートし、いよいよ本格的な動きが始まりました。

晴天に恵まれたこの日は、内外から約三千人が訪れ、オープニングセレモニーや特産品販売、盛りだくさんのイベントで終日賑わっていました。

— contents — 主な内容 — contents —

..... P 2～3

⇒仙田体験交流館・道の駅オープン

..... P 4～5

⇒特集〈目標のあるボランティア〉

..... P 6～7

⇒あなたの意見／参議院選挙結果

..... P 8～10

⇒募集・お知らせコーナー

⇒千手温泉／生涯学習／里創プラン

..... P 11

⇒おらムラの話

..... P 12～13

⇒-topics-まちの話題

..... P 14

⇒フォト散歩／ズームアップ役場

..... P 15

⇒俳壇／くらしとけんこう ほか

..... P 16

⇒戸籍の窓／ちいさな展覧会 ほか

●印象的なオープニング

真夏の太陽が燦々と降り注ぐ中で始まった、「仙田体験交流館」竣工「瀬替えの郷」道の駅指定オープニング式典では、特設ゲートでテープカットが行われたあと、くす玉わりで華やかさを添えて、町長の式辞へと移りました。

●楽楽市場大繁盛

交流館前に設営された楽楽市場では、とれたての新鮮な野菜や花、ソーセージや漬け物などの加工食品、木工品などが並べられ、開店と同時にお客さんが集まっていました。十日町市から近所同士で乗

この中で田口町長は、「今、地域の拠点が生まれたが、これから十集落千五十人の地区住民が一九となつて、新たな時代のうねりを巻き起こしてほしい。」と今後の活動に期待を示しました。

高鳥修衆議院議員、上村憲司県議会議員ほか来賓の祝辞のあと、道の駅駅長に高橋幸一さん（仙田地域交流施設管理組合長）が任命され、田口町長から任命書が交付されました。

り合わせてきたという女性は、「この夏野菜が日当てで来ました。地元の人との話も魅力です。」と、袋いっぱい野菜を買い込んでいました。

また、地区の若い衆の会の運営による露店では、とうもろこしやイカを焼いたり、焼きそば、たこ焼きなど、縁日さながらのメニューをとりそろえて、訪れた人たちのどとお腹を満たしていました。



楽楽市場にはいつも人だかりができていました

●今や仙田の顔

「子供樽太鼓」

交流館・楽楽市場前では仙田子供樽太鼓の演奏が行われ、大きな人だかりができていました。

今までのレパートリーに加え、今年から、父親たちも唄で加わる、天神ばやしバージョンを用意して演奏に幅を広げました。

地域の顔としての仙田子供樽太鼓は、各地の催しものに出演してさらに飛躍していくことでしょう。



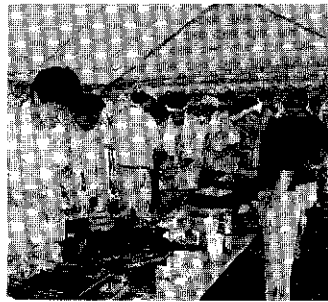
子供樽太鼓の力強いリズムは多くの人の心をとらえます

●好評！雪冷房

交流館の目玉のひとつに「雪室」があります。

野菜や米などの農産物の貯蔵や、低温を利用しての野菜栽培、交流館の冷房に利用できる機能があり、農産物の高付加価値化や、これからのクリーンエネルギーとして注目を集めています。

暑かったこの日は、ことのほか雪冷房の効能が好評で、「涼しい、気持ちいい。」「普通の冷房のようにビリビリしなくていい。」「春みたい。」「特に女性からの声が目立ちました。」



露店運営では、地域の人たちのつながりも深まります

雪で空気を冷やしているため、適度な湿度が保たれて自然な清涼感があり、また、雪がフィルターとしての役割を果たすので空気清浄効果もあって、さわやかな空気になるなど、いいことづくめのようです。維持費も安く、一般への広がりも期待されていますが、問題は設備をつくる場所と費用がとても大きいこと。これさえ解決できれば、早速わが家にも...と思った人も多かったのではないのでしょうか。



ユニークな山笠フリスビーは大人も子どもも楽しめました。でも、ムズかしい...

●子どもに人気の体験コーナー

竹とんぼ、弓、バチンコ：昔なつかしい遊びのあれこれが体験でき、しかも自分で作れるとあって、ここでは子どもたちの真剣な姿が見られました。

講師は、「道草隊」という地区の元子どもたちで組織する交流館の運営を支えるボランティアのみなさんで、それぞれ自分の経験で培った工夫を、今の子どもたちに

詳しく伝授していました。

作業には刃物を使うことから親も参加し、いっしょに遊び道具づくりと、作った道具を使つての遊びを楽しみました。むしろ、親の方が熱中している姿が印象的でした。

●すっかり定着

寒九のトロロ

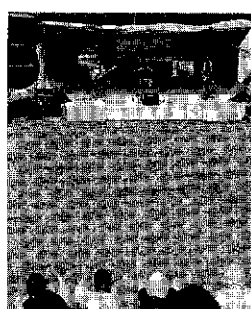
「寒に入つて九日目にトロロを食うと病気になる」という昔から仙田に伝わる食習慣を、「時代に合わせたメニューに再現して地域を訪れた人たちに提供する」という事業に仙田地区の女性たちが取り組んで五年、様々な試行錯誤を繰り返してノウハウを蓄積してきました。

この日は、その成果を発表する場で、「寒九のトロロ御膳」を提供していましたが、「これが、あの寒九のトロロですか。」「一度食べてみたかったんです。」「この日を心待ちにしていた人たちが賑わっていました。」

●フォークとロックの熱いライブ！

東京のフォークソンググループ「三又路」とロックバンド「HIVAY6」が、それぞれ制作した「交流館のうた」と「楽楽市場のうた」をステージで披露しました。これらの曲は、交流館の中でも

BGMとして流れていましたが、若いエネルギーに満ちたテンポの良い曲に、「あ、おしゃれ。」「結構いいな。」「と訪れた人々も自然にノッていました。」



若いエネルギーは若者がつくり、受けとめる

●多彩な花のアートフェスタ

今年から実施された花のアートコンクールの表彰式と、花のモデルガーデン、フラワーアレンジメント教室など、花があふれる空間が会場全体を演出し、華やかな雰囲気を一層引き出していました。(花のアートコンクールの結果については、P10をご覧ください。)



フラワーアレンジメント教室は、雪冷房のすずしい中で楽しめました

特集

目標のあるボランティア

各地でボランティア活動が盛んです。川西町でも、給食ボランティア、訪問ボランティア、ゴミ拾いボランティア、除雪ボランティアなど、様々な活動が行われていて、関わる年齢層も若い人からお年寄りまで幅広く浸透しています。川西高校では、十年ほど前からボランティア部を中心に、地域と関わる活動や、福祉、保育といった分野で地道な活動を続けています。その取り組みを取材しました。

学校にはない未知の体験がたくさんできる

——まず部員の皆さんを紹介してください。

相沢弓子先生 現在、三年生と一年生合わせて十八名で、そのうち男子が五名です。

——ふだん、どんな活動をしているのですか。

上村織江さん（三年・部長） あかね園やファミール川西でのお手伝い、保育園で園児たちといしょに遊んだり花壇の草取り、廃油石鹸づくりなど、年間を通して活動しています。

相沢先生 他にも、外部から要請のある様々な募金活動、アジア文化祭や二十四時間テレビ等のイベ



「お話するのが楽しい」という上村織江さんは栄養士をめざす（三年・部長）

ント、身体障害者の旅行やキャンプの手伝い、福祉施設入所者への手づくり年賀ハガキや誕生日ハガキプレゼント、なかまの家一日体験、文化祭でのバザー売り上げの難民対策への寄付など、広い分野で活動をしています。

——どんなところが魅力でしょうか。

青柳恭子さん（三年） 何回もボランティアに行くうちに顔を覚えられ、行くと喜んでももらえることですね。



「保育士になりたい」青柳恭子さん（三年）は志望校も決まりました

上村織江さん 学校や家ではしたことがない経験をたくさんできることが魅力です。

——逆に、大変だなと感じることはないですか。

最初はとまどいましたが

藤田美久さん（三年） 最初慣れない頃は、人とうつきあつたらしいのかわからず、なかなか話ができませんでした。でも、いまはべちゃくちゃしゃべれますけど……（笑）



「園児とのコミュニケーションを大事にしている」村山佳織さん（3年）は福祉関連の分野に進みたい

村山佳織さん（三年） みんな楽しんでやっています。訪問先でも楽しんでもらえることがうれしいです。あまり大変だとは思いません。（全員うなずく）

——一年生はどうですか。この部を選んだ動機は？

村越優子さん（二年） オリエンテーションでこの部のことを知り、やってみたいと思いました。
開発彩子さん（二年） ボランティア活動に期待するところがあつ

て参加しました。

——男子はどうでしょう。

藤巻純君（二年） 前から興味がありました。施設の掃除などを手伝っています。

上村亮介君（二年） まだ、どうしていいのかわかりませんが、やりがいがありそうだと思って参加しました。

——それでは、皆さんが実際ボランティア活動をしている現場を拝見したいと思います。

園児も待つてる保育園

その日の午後、校舎脇の花壇の草取りをした一年生の女子四人（上村理美さん、村越優子さん、渡貫厚美さん、開発彩子さん）は、お昼寝中の南原保育園を訪れまし



「活動しながら考えてゆきたい」という上村理美さん（1年）

た。

園児を起こさないようにそおつと園内にはいると、寝入っている子どもたちを見守ったり、職員の手伝いをし、昼寝時間が終



「音楽の道に進みたい」という開発彩子さん(右1年)
「保育士をめざしたい」という村越優子さん(左1年)

わると子どもたちを起こしておやつ
の準備をてきぱきとこなしま
す。

全員でおやつをいただくときは、彼女たちの表情も子どもたちと同じようにほころんでいまし
た。

片づけのあと、園内を掃除して
こどもたちと外で遊びます。

鬼ごっここの鬼になったり、遊具
での遊びを手伝って、子どもたち
の中にはいつていくことがとても
楽しそうでした。

園児たちも、お姉ちゃんたちが
来てくれることを楽しみにしてい
て、服を引っぱってあそびの中に
引っ込んだり話しかけたりして、

しつかり「仲間」扱いしていまし
た。

翌日は、三年生の高橋陽子さん
と村山佳織さんが同園を訪問しま
した。さすがに三年生になると子
どもたちとのやりとりや、身のこ
なしもてきぱきしていて、もうす
っかり保育園の一員になったよう
でした。

紙芝居の語りも堂に入ったもの
で園児たちも熱心に聞き入ってい
ました。



「福祉の道をめざしたい」という渡貴厚
美さん(1年)

行動に自信と落ち着きが

デイサービスセンター・ファミ
ール川西には、上村織江さんと青
柳恭子さんが訪れ、利用者の下手
観音拝観のお手伝いをしました。

車の乗り降りや階段の上り下り
の補助をしたり、お茶運びや話し
相手になってお年寄りの人たちと
すっかり打ち解けている姿には、

自分の行動に対する自信と、もう
社会人のような落ち着きさえ感じ
られました。

「若けしよが来てくいらんが張
り合えだて。」「元気があっていい
のお。」と、お年寄りたちも彼女
たちの来訪を心待ちにしているよ
うでした。

人との関わりで急成長

—受け入れる施設の方々にもお
話をうかがいました。

南原保育園 七、八年前から高校
生のボランティアを受入れていま
す。

子どもたちも楽しみにしていま
すし、職員も仕事を留意して待っ
ています。父兄の方も喜んでいま
すよ。

あと、体育祭など高校の行事に
は子どもたちが応援に行きます。



高橋陽子さん(3年・副部長)は「以前
から保育士が夢」

「あ、お姉ちゃん、お
兄ちゃんがいる!」とは
しゃいで応援すると、ま
た向こうでは、お菓子を
用意してくれたりする
から、ほんとにつながら
が深まりますね。

保育士になりたい生徒
もいて真剣です。みんな
目的意識を持っています
よ。

あかね園・デイサービス
センター 年間スケジュ
ールの中で訪問してもら
っています。

福祉施設ですので、い
ろいろな注意事項等につ
いてはよく説明して守っ
てもらっています。

車椅子の掃除にしても
らったり、話し相手になっても
っています。とても好評です。

最初の頃は、人とのコミュニケ
ーションのとり方がわからなくて
苦労するようですが、それを通り
越すと格段に成長するようです。
多くの人と関わるのが大事な要
素ですね。

相沢先生 三年生になると自覚が
出てきて態度もしつかりしま
すね。

ボランティア活動を通して進路
を決める生徒も多いですよ。進学

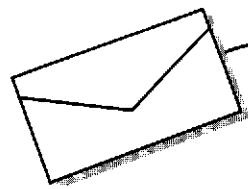


夏休みの活動計画の話し合いに集まった川西高校ボランティア部のみなさん

するにしても、就職するにしても
福祉や保育、栄養などの分野に進
むことが多いです。

—今回お話をうかがった生徒の
皆さんは、みんな目標をもってい
ました。特に三年生は具体的に人
生設計も描いていて、頼もしささ
え感じられました。

「帰宅部が多い中、よしとんだ
こつとお。うれしくなるで。」と
いうある住民のことばが、地域と
の関わりの深さを表していて、と
ても印象的でした。



お寄せください あなたの 意見・提案・質問

町では、皆さんのご意見やご提案をまちづくりを生かしていきたいと、「まちづくりについての提言や意見」をいただいています。これまでに届いたものの中から、紙面で紹介する必要があるものを、内容を抜粋してご紹介します。

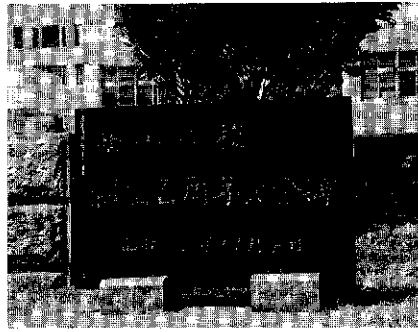
合併しても、由緒ある「橋」の名を消さないで！

(64歳・男性)

①合併問題は、あらかじめアンケートなり、何らかの方法で住民の意向を集約しておくことが大切。

〈情報収集は綿密に〉

①七月の広報でも述べましたが、合併問題は、地域の将来や住民の生活に直結する大問題であることから、検討する際には、住民の意向を把握し、反映させる住民主体の取り組みで進めるべきものだと考えています。



130年近い伝統がある橋小学校

今後の具体的な取り組みとして、住民の皆さんが適切な判断ができる材料となるように、現在の財政状況や地域の課題、将来の見通しなどの情報を、できるだけ多く提供していきます。

また、関係市町村による研究会や懇談会で、自治体ごとの住民サ

ービスの内容と負担の状況、財政状況などの違いを調査研究するなど、細かな情報の収集にも努めます。

こうした、住民の皆さんに対する情報提供と説明、そして関係市町村との協議など、各般にわたる議論を踏まえた上で、合併に対する意向調査等を行い、判断材料の一つとするなど、適切な対応を図りたいと考えています。

(横浜市・男性)

②合併しても、旧村のシンボルである「橋」の名前だけは小学校に残してほしい。同級会で校歌を歌っても、もし橋の名がどこにも見当たらないようなことになるとうるさく望みを失いそうだ。

〈最善を尽くします〉

②「橋」の由来については、広報七月号の「おらムラの話(上村政基氏執筆)」に出ていますが、仁田にあった橋山広伝寺の山号を採って橋村の村名にしたといわれています。明治二十二年のことです。

また、橋小学校の起源は明治六年ですが、昭和十六年に橋国民学校になり、昭和二十二年に現在の「橋小学校」になりました。

校歌に「橋の名も かぐわしき学びの庭に いざわれら」とありますが、校歌は橋国民学校になった翌年の、昭和十七年につくられ、

作詞は相馬御風、作曲は中山晋平という、当時のゴールデンコンビの手になるものです。

このようなことから、橋小学校を卒業された多くの皆さんが、「橋」という文字の高貴なイメージとともに、校歌にも誇りと深い愛着を持っていただけるのだと思います。私もOBとして、格別な思をししている一人です。

さて、学校経営については、過疎化の流れの中で、中学校が全町一校化されるなど、多くの学校が閉校を余儀なくされてきた経過があります。このため、橋小学校の未来について当分の間は保証できても、この場で永続的な保証ができるものではありません。

合併する、しないの論議については現在白紙状態ですので、仮の話になりますが、合併するにしても、この件に限らず、町民の皆さんが望むことや大切にしたいと思うことについては、関係市町村との協議の場で大いに主張しなければならぬ事柄と考えています。最善を尽くしたいと思っています。

名城「節黒城」の再生を！

①眺望のすばらしい景観地に位置する「節黒城」を、全国の名城とまでゆがなくても、内外に誇れるものに再整備できないか。

〈天下の名城！
とまではいなくても…〉

①指摘のとおり、現在の「節黒城」は景観を楽しむ展望台として位置づけているもので、史実に基づいて再現されているものではありません。

このエリアは、「越後妻有アートネックス整備事業」のステージ整備拠点として、「人間は自然に内包される」を基本コンセプトに、自然を題材とし、現代アートを取り入れながら新しい田園都市づくりに取り組んでいる区域です。

この事業は、平成十八年度までの期間に施設や空間を整備していくものですが、節黒城跡周辺も、天下の名城というのは難しいかもしれませんが、この中で展望施設も含めて何らかの整備をしたいと考えています。



雄大な節黒城跡からの眺め

ただし、史跡ですので、史実とあまりにもかけ離れた施設整備や、遺跡の破壊につながるようなことはできません。

節黒城跡エリアは、全体としてはナカゴグリーンパークを含む総合緑地公園の森林・史跡公園として、キャンプや森林浴などアウトドアライフが楽しめる空間として整備しており、今後、さらに充実させたいと計画しているところです。

「エコマネーをつくって！」

(66歳・男性)

①NHKのクローズアップ現代の番組で紹介されていた、宝塚市のよつな「エコマネー」を、町でもつくったらどうか。

「エコマネーは昔の「結」」

①これまで、何事もすべて貨幣価値に置き換えた中で社会経済が形成されてきましたが、二十一世紀のコミュニティづくりでは、「人の温かい心のつながり」や「ボランティア経済の循環」等が求められています。この活動をスムーズにするために、ボランティアやサービスを独自の通貨(点数)に換算し、その額(点数)分、他のサービスを受けることができるように考案されたコミュニティ通貨が、いわゆる「エコマネー」と呼ばれています。

私たちの地域でも、三十年ほど前までは農作業などの労力を互いに貸し借りする「いいところ結」が盛んに行われていました。しかし、農業の機械化や社会経済の発展などにより、昔からの「結」制度は見受けられなくなりました。それらに替わって、近年は各種ボランティア活動が色々な団体やグループによって実施されています。一例をあげますと、家庭から出される生ゴミがボランティア活動を通して堆肥化され家庭菜園などに還元されていますが、これなどもひとつの「エコマネー」的活動といえるでしょう。

ご提言では、宝塚市のような「エコマネー」を川西町でもつくったらかとのことですが、こうした活動は、民間の企業、団体、グループや個人が運営し、行政がそのバックアップをするというのが一般的なようです。宝塚市の場合も特定法人宝塚NPOセンターが中心となって運営しています。

いずれにしても、「エコマネー」という言葉が誕生して日も浅いことから、まずエコマネーの主旨や活動目的が正しく理解され、普及していくことが重要だと考えています。今後、社会の推移を見守りながら、住民の皆さんや関係機関といっしょに十分研究していきたいと思っています。

◆参議院議員通常選挙結果◆

—7.29 川西町開票区—

7月29日に行われた参議院議員通常選挙の結果を報告します。

小泉純一郎首相が提唱する「聖域なき構造改革」をめぐり与野党の論戦が激しく行われましたが、全国の投票率は、選挙区、比例区とも3年前の前回を約2ポイント下回る56%程度、新潟県では61%程度で前回は5ポイントあまり下回り、川西町でも前回は3ポイントほど下回りました。

また、今回の選挙から、比例代表の投票が政党名でも候補者名でもできる、いわゆる非拘束名簿式が導入され開票事務が複雑化したため、開票作業は深夜まで続きました。

川西町の結果は次のとおりです。

●投票結果

区 分	新潟県選出	比例代表選出
最終有権者数	6,672人	6,680人
投票者数	5,267人	5,266人
投票率	78.94%	78.83%



投票所のような

●開票結果 (届出順/敬称略)

○新潟県選出議員選挙

氏 名	得票数
森 ゆうこ	499票
しのぎき信明	22票
長谷川みちお	382票
内 田 洵子	570票
くわはら加代子	246票
関 山 信之	534票
まじま 一 男	2,799票
(無効投票)	215票
計	5,267票

○比例代表選出議員選挙 (個人得票を含む)

政 党 名	得票数	政 党 名	得票数
日 本 共 産 党	132,500票	自 由 連 合	35 票
第 二 院 ク ラ ブ	30 票	公 明 党	349,785票
維新政党・新風	1 票	自 由 民 主 党	2,048,447票
女 性 党	28 票	社 会 民 主 党	343,066票
無 所 属 の 会	3 票	自 由 党	259,200票
保 守 党	20 票	新党・自由と希望	1,216 票
民 主 党	492 票	(無効投票等)	285,002票
新 社 会 党	23 票	計	5,266 票

募集

国道二五三号愛称募集

新潟県とほくほく線沿線地域振興連絡協議会（うるおい観光ロード整備部会）では、上越市を起点として浦川原村、三和村、大島村、松代町、十日町市を結びながら、六日町に至る総延長六十七キロメートルの国道二五三号がますます多くの人々から親しみをもつて利用されることを期待しています。

そこで、国道二五三号の自然景観、歴史、風土、人々の暮らしなどをイメージできるような親しみのある道路の愛称を募集することとしました。応募方法は次のとおりですので、奮ってご応募ください。

◆応募方法

- ①官製ハガキに愛称・愛称の由来（外国語を含む場合は、必ず何語かということと、その意味）・郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を明記してください。（一枚につき愛称一点）

- ②自作、未発表のものに限ります。応募作品の一切の権利は主催者に帰属します。また、応募作品は返却しません。
- ③愛称決定の際、表現、表記等の一部を変更する場合があります。

◆応募締切

平成十三年九月十七日（月）必着

◆応募先

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地

十日町市商工観光課内 ほくほく線沿線地域振興連絡協議会事務局 国道253号愛称募集係

☎0257-5713111
（内線269）

◆賞品及び発表

優秀な応募作品若干名に沿線市町村提供の特産品セット。九月末に入賞者に通知します。

かわにし雪まつりのアイデアと協力団体等募集

本年三月三・四日に行いました第十五回かわにし雪まつりには、大勢の皆さんからご参加いただきありがとうございました。

かわにし雪まつりがより一層、町民手づくりのものとなりますよう、皆さんからイベントのアイデアをお寄せいただき、今後の実行委員会などで検討させていただきますと考えております。

イベント実施にあたりましては、予算等の関係もあり、ご提案いただいたアイデアどおりのイベントが実施できるかどうか不確定な要素もありますが、日頃考えの多くのアイデアをお寄せくださるようお願いいたします。

また、雪まつりの企画・実施にボランティアで携わり、まつりを盛り上げてくださる団体や個人の方を募集します。実行委員会までご連絡ください。

◆あて先及び連絡先

〒948-0192 川西町大字水口沢十
二 川西町役場内 かわにし雪まつり実行委員会 ☎68-3111（内線312）

◆アイデアの提案方法

はがき・手紙・FAX（68-3828）でお願いします。

第三十四回手紙作文コンクール 作品募集

◆募集期限 九月五日（水）

◆手紙作文部門

対象①小学生、中学生

②外国人の方（年齢制限なし）

※自由なテーマの手紙文（日本語）を募集します。

◆はがき作文部門

対象 小学生

※はがきを使用した自由なテーマの手紙文（日本語）を募集します。

◆絵手紙部門

対象 幼児・小学生、中学生、高校生、一般

※はがきを使用して、自由なテーマで絵を描き、メッセージを添えた作品を募集します。

◆応募先・問い合わせ先

千手郵便局（☎68-2070）

新しい千手温泉は、どんな建物？

工事現場からの報告 No.5

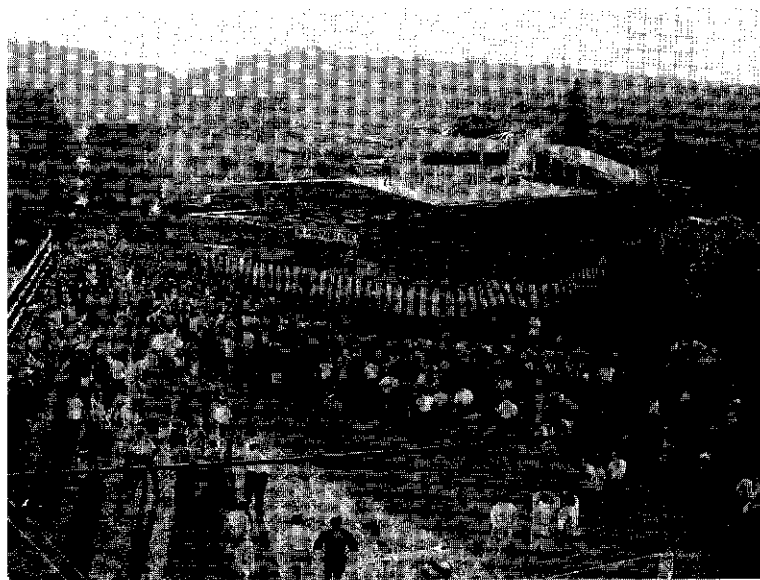
七月七日、梅雨の時期ではありませんが、すばらしい好天に恵まれ、屋根まつりが盛大に行われました。

現場ではこの屋根まつりを大きな節目として、十月末の完成へ向けて一丸となつてがんばっています。現在は、内外装の木工事を進

当日、大きな曲線を描いた美しい屋根が目の前迫る敷地の中に、元気な子供たちを含め、約六百人が集まり棟上げをお祝いしました。

屋根の上では、大工さん達により工事の無事を祈願するおまつりが行われた後、町長や工事関係者による餅まきが行われました。

この日の屋根まつりの準備には、工事関係者と町の方々から多大なご協力を頂き、手作りの屋根まつりを盛り上げることができました。



輝く夕陽の中、印象的な儀式と華やかなまつりが行われました

めています。ふんだんに木材を使用した仕上げとされているため、まだしばらく大工さん達による木工事が続きます。その後は、木工事に引き続き、いよいよ左官工事が始まります。

第1回町民バタールゴルフ大会 参加者募集

- ◆日時 八月十九日(日) ※雨天決行・午前八時三十分受付開始
- ◆会場 ナカゴグリーンパーク
- ◆参加費 二、五〇〇円
- ◆参加資格 町民または町内の事業所に勤務している方
- ◆募集期限 八月十五日(水)
- ◆申込方法 役場開発課またはサンパレスナカゴに備え付けの申込書に必要な事項を記入し、参加費を添えて、直接左記まで申し込みください。
- ◆申し込み・問い合わせ先 サンパレスナカゴ(☎68-4419)

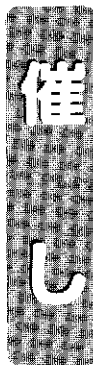
屋外広告物デザインの提案を募集します

- ◆テーマ 新潟県をアピールできるもの
- ◆応募期限 八月三十一日(金)
- ◆応募規定
- 技法は自由(B2/728×514) ※縦横自由
- 用紙はウッドラック又はデザインボード
- 応募資格 県内在住者に限る
- ◆申込先 県都市政策課(☎02-5-280-5426) 新潟市建築指導課(☎025-2226-2810) 県広告美術業協同組合(☎025-247-2819)

- ◆賞 新潟県知事賞 ほか
- ◆展示期間 十月十九日(金)二十五日(木)
- ◆会場 NEXT 21 一階アトリウム(新潟市西堀通六番町八六六)

皇后勤労奉仕団

- ◆日程 平成十四年四月上旬(五日間)
- ◆定員 先着五十人(十五歳〜七十歳)
- ◆費用 七万三千円程度
- ◆申し込み 八月三十一日までに平野綱一さんへ。(☎68-2593)



第十二回「青年海外協力隊との集い」を開催します

- ◆日時 八月二十四日(金) 午後一時〜三時
- ◆会場 新潟ワシントンホテル 大和西の間(新潟市笹口一の一) (☎025-243-7311)
- ◆内容・その他
- ・青年海外協力隊広報ビデオ上映
- ・国際協力事業団による事業説明
- ・帰国隊員体験報告 など
- ※入場無料
- ◆問い合わせ先 県国際交流課 流推進係 ☎025-2285-5511 (内線2215)

その他

平成十三年度・無料健康相談

事業所の事業主や労働者の方の健康相談は、毎月一回国保診療所で開催します。詳しくは、国保診療所(☎68-2034)までお問い合わせください。

消火器の訪問点検や訪問販売にご注意!

十日町管内の点検業者名を使つて不適正な点検や高額請求の被害が多発していますのでご注意ください。もしも、そのような業者が居直つたり、脅迫的な言動に出たときは、近くの警察署・消防署に通報してください。

河川愛護モニターを紹介しします

●栄橋・十日町橋左岸担当
小海貴代美さん(神社町)
モニターは、日常の生活の範囲内で知り得た情報を信濃川工事事務所に連絡しますが、地域の方々の、生活に密着した信濃川に関する情報を是非モニターにお知らせください。

生涯学習だより ⑤

公民館講座

環境問題セミナー

地球環境は、すべての生命基盤であり、私たち人類はその大きな恵みに支えられてこそ健康で文化的な生活を送ることが出来ます。しかしながら高度経済成長期後は、社会や生活の変化に伴い、環境汚染の形も産業公害から都市生活型公害、さらに地球環境問題へと姿を変えてきており、私たち消費者もごみ問題に大きくかかわっています。

生涯学習課では、環境問題に関心をもってもらい環境を大切に思う気持ちを育むために、平成十年度から公民館講座として「環境問題



熱心に話を聞く受講者

題セミナー」を開催しています。本年度は、七月十七日に川西町総合体育館と、有機の里川西が行っている生ごみリサイクル施設を会場に開催しました。

今回は、一般住民をはじめ橋小学校の四年生も総合学習の一環として参加、総勢四十一名で生ごみリサイクルについて学習しました。

セミナーでは「有機の里川西」の会長である上村源司さんから町のごみの現状や、なぜリサイクルが必要かなど、基本的なことや生ごみから堆肥ができるまでの話をしていたきました。

リサイクル施設の見学では、一般の皆さんをはじめ、小学生が熱心に説明に耳を傾けている姿が印象に残りました。



生ごみリサイクル施設の見学

花のアートコンクール結果発表！

花でいっぱい町に！を合言葉に進めた第一回花のアートコンクールは、七月四日に審査が行われ、七月十五日に仙田体験交流館で表彰式が行われました。

三月から三回にわたって花の講習会を実施し、団体の部では助成事業も取り入れて参加を呼びかけたところ、個人の部、団体の部ともに十組の申し込みがありました。

厳正な審査の結果、個人の部では最優秀賞一点、優秀賞二点、特別賞一点が、団体の部では、最優秀賞一点、優秀賞二点、特別賞二点がそれぞれ選出されました。

優秀賞以上の作品の写真と、入賞者を紹介します。

団体の部

- 最優秀賞 なかまの家（なかまの家）
- 優秀賞 彩りの散歩道の会（上野）
- 優秀賞 交通安全協会婦人部（山野田）
- 特別賞 ひまわりグループ（中屋敷）
- 特別賞 熊野社神輿会（仁田）

個人の部（敬称略）

- 最優秀賞 高橋 芳江（学校町）
- 優秀賞 清水ノリ子（学校町）
- 優秀賞 南雲 要子（美咲町）
- 特別賞 宮 正子（山野田）



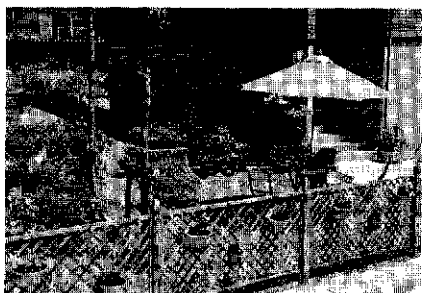
交通安全協会婦人部（妻有大橋西側上）



彩りの散歩道の会（上野交差点付近）



なかまの家（なかまの家入口）



南雲要子さん（美咲町）



清水ノリ子さん（学校町）



高橋芳江さん（学校町）

団体の部

個人の部

第二回の作品づくりは、私たちの地区で！

五十地区で大地の芸術祭作品誘致希望

「作家と一緒に作品づくりに参加しませんか？」と、第二回大地の芸術祭の作品誘致希望について広報等で募集したところ、小学校や企業、地域グループなど約五十地区（団体）からの応募をいただきました。

今回の誘致希望は第二回大地の芸術祭において、各市町村のステージ以外に設置されるソフト作品と公募作品です。また今回の誘致希望と併せて、新潟県のアートトリエンナーレ支援事業として整備されるポケットパーク（アートを活かした公園）についても誘致希望の取りまとめが行われ二十五か所が候補地としてあがりました。

誘致希望地については北川フラム総合コーディネーターが市町村と話し合いながら、各場所にあった作品の選定や公募を



地域との協働で作った國安孝昌の「棚守る竜神の御座」

行い、作品作りをすすめます。（但し、誘致希望をした場所すべてに、必ず作品が設置されるとは限りません。）
今後とも随時、誘致希望を受け付けていますので、作品を設置して欲しいという地区や団体は、役場開発課（☎68-3111へ内線311・312）へご相談ください。

里創プラン

通信

23

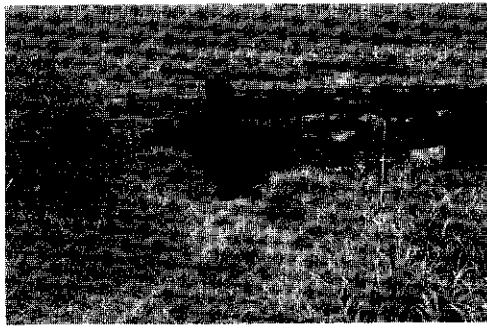
遠足は歩いたもの

四十年余も教職に就いていた友人が、昔は歩いていくのが遠足であり、車（汽車）に乗るのが旅行だと区別していたのだが、いまの遠足は、始めから終わりまで車に乗っていくと笑う。

三、四年生といっしょに学校の裏山に登ったら、手ごろな木があったので、枝を掛けてあがり、「エッサンブッサン モモノキ」と揺すったら、若い先生があわて、「教頭先生、止めてください。こどもたちが真似をしたら大変です——」と声をあげた。

これじゃあ、自然の中で楽しむという意味なんか、どこかへいつてしまうんじゃないかね——と嘆いていた。

教育論を述べるわけでないから、この話はこれで終わるが、交



刈羽道からの眺め

通機関がほとんどないというような時代には、人々は、ただただ歩き続けて峠を越えていった。

峠を越えていく道は、ひと休みして眺める信濃川の流れと、林の蔭に見える村々のたたずまい、そのむこうに連なる山脈など、自分たちの生きている環境をあらためて認識させてくれたものである。そして、また祈りの道でもあったのだ——。

霜条からいく刈羽道

霜条から登って西の峰を越えて

おららの話

(第四回)

上野 上村 政基

いく道を、地元の人たちは刈羽道と呼んでいた。

清龍寺を左に見て、右の山田観音を過ぎると、本格的な登り道にかかる。昔からの馬道であって、馬を引いていけるほどの広さだったという。

右に小山沢を見おろして登り続けると花立ての松があり、マキの平と呼ばれるちよつとした平地があつて、ここで坪山からきた道といっしょになるし、いまは廃村になった平見を見おろし、急な前坂をあがってきた近道も交差する。

坪山からくる道は、村の一段上

に大杉があつて、その根元に庚申塔が祀られ、ちよつとした急坂の檜の木坂を登り、雨のあとはいへん滑りやすくなる赤羽根道を過ぎてくる。

マキの平には、山道から落ちて死んだ馬があつたのだろうか、馬頭観音が祀られていた。

ここから五〇〇メートルと、三ツ峯と呼ばれたところに松があつて、平見の人たちが立てた念仏塚や道標があつた。いっしょに並んでいた雷電王碑は、その後坪山神社に移されている。

右の北へ分かれていく道は、平見を右に見おろしながら過ぎて、田戸へおりたり、ツンネ道を上野峠へ向かつていく。

左(南)へ進むと、道は細いツンネ道になり、坪山峠に至る。

ツンネは山脈の峯を指す名前前で尾根ともいうし、土地台帳では鶴嶺・弦嶺・つるねなどと書かれている。山脈の頂上をつないで村境にしているときは、ツンネ境という。

また、山仕事で入った人や、猟師などが歩いてきたツンネ伝いの道を、踏みわけ道と呼んだりして

いた。

坪山峠から大分南へ行つてから西へおりて藤沢にいくのだが、その途中に大きな松があつた。藤沢の人たちが、この松に高く棒を立て、幣帛を付け灯明をあげ、八海山まつりをした。

藤沢集落は山の下にあつて八海山が見えないので、ここまで村中の人があがつておまいりをしたのだという。



道しるべ馬頭観音(越ヶ沢)

藤沢に伝えられている大蛇を退治した隠如坊さんを祀っているのは、ツンネ道のもつと先で、千手地内に院入塚の地名がある。

藤沢から室島へおりて、また登っていく。右手に室島城山を見ていく道は六ツも登りつづけて、刈羽郡とのツンネ境いで中仙田からきた道といっしょになる。

刈羽郡栃ヶ原集落を眼下に眺めながら南へいくと、もとは仙田村で東頸城郡松代町に合併した桐山

に入る。中魚沼・刈羽・東頸城郡の境界になつていて、昭和二十年代には三郡の組合立小学校があつたところである。

廃村になった後谷や清水を抜けて松代町に入る。松代で刈羽・上越地方へ分岐する。

山を越え谷を下つての遠い道のりであるが、昔は、後谷・清水にも上野の西水寺の檀家が多くあつたという記録が残っている。また、南北朝時代の梵字碑(板碑)があつたりして、川西地方との縁があつたことをうかがわせる。誰もが、歩くしかなかった道である。

赤羽根は赤い粘土

羽根はハニの訛つたことばだという。ハニは埴土(ねばつち、あかつち)のことである。

赤味を帯びた土で、乾ききつたものは固い岩のように見えるが、雨水が浸みこむと粘つてきて、滑りやすく歩きにくい。

羽根・赤羽根地名はあちこちにあり、野口、上野地内の赤坂も同様のものであるかも知れない。

十日町市六箇を貫いて流れる羽根川は、上流の赤羽根・羽根地内に降った雨で、川が赤く濁るから名付けられたものであるう。

南北朝時代の城主が羽川氏を称し、古くから流域一帯を羽根川郷と呼んできた。

快挙！ 十日町高校甲子園へ！

連日の逆転ドラマで初栄冠

ラッキーボーイは 川西中出身の羽鳥君

「創部54年目悲願達成」「殊勲十日町初の甲子園」「快挙！夢がなった」「ミラクル十高野球」「劇的な大逆転」「奇跡の逆転サヨナラ」「トンボ甲子園へ飛ぶ」「ノーシードから頂点へ」「球史に輝く金字塔」「歴史に残る名勝負」「感動の逆転V」「勝利の女神十高ナインに微笑む」「トンボ全員野球の花開く」。7月27日以降の新聞各紙にはこんな見出しが飛び交いました。

7月26日、第83回全国高校野球選手権新潟大会の決勝戦が長岡市悠久山球場で行われ、十日町高校が延長10回、優勝候補筆頭の日本文理高校を逆転サヨナラで破り、甲子園への初切符を手に入れました。

この試合は、逆転に次ぐ逆転、手に汗握るシーソーゲームで、「当事者でなくても興奮する。」「こんな息詰まる熱戦は初めて。」という接戦になりました。

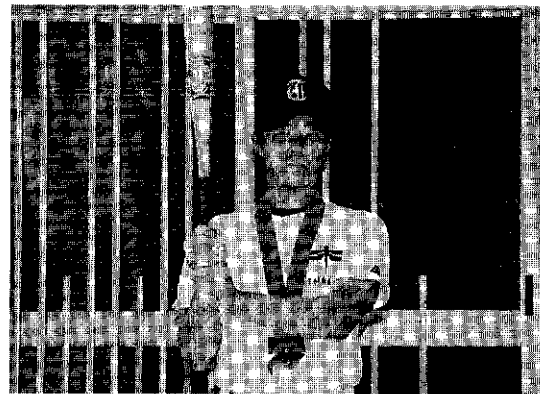
先手を取ったのは日本文理で、3回に集中打で3点を先取。その裏十日町が同点に追いつき、5回に2点を挙げて逆転、6回に1点を加えて6-3とリードを広げましたが、日本文理は7回に1点を加え、9回二死で同点に追いつき延長戦へ。延長10回表、日本文理が1点を挙げて7-6と勝ち越し、裏の十日町の攻撃となりました。

一死走者なしで敗戦ムードが漂い始める中、不安をかき消すような快音が響き、連続三塁打で同点、一気にサヨナラのチャンスを迎えました。日本文理の満塁策で二死満塁となったとき、二塁走者がわざと飛び出して相手捕手の牽制球をさそい、そのすきをついて三塁走者が本塁に突っ込み、間一髪セーフ！8-7と劇的なサヨナラ勝ちを決めました。

この瞬間、会場に詰めかけた十日町市や近隣町村からの応援団はもとより、自宅や職場でテレビ観戦していた地域住民が挙げる大歓声があちこちに響き渡りました。

今大会での十日町高校の前評判はそれほど高くはなく、ノーシードから接戦をものにして勝ちあがり、優勝までの六試合のうち、5試合が逆転勝ち、4試合が1点差という、まさに粘り強さでつかんだ栄冠でした。

しかも、準決勝で新潟明訓、決勝で日本文理という優勝候補を破っての快挙で、一層価値ある優勝となりました。



金メダルを胸に…バットを構える羽鳥君

ところで、今大会の十日町高校のラッキーボーイ的な活躍をしたのが2年生の羽鳥裕史君。(木落)

五泉戦では、9回に代打で出場してヒットを放ち、さすが盗塁して逆転の足がかりをつくり、新潟明訓戦では5回に二塁打を放って逆転集中打の起爆剤となり、決勝戦ではヒットがでなかったものの、サヨナラのディレードスチールを決めたときに、バッターとしてその場を演出する役割を果たしました。

羽鳥君は「みんなからもラッキーボーイといわれてうれしい、とにかく勝てて良かった。」「サヨナラの場面で「スチールのサインが出たときは、やっぱりきた、と思いました。何度も練習していたので必ず成功すると思いました。」と話してくれました。

そして、優勝できた一番のポイントは？との問いに「粘りです。」と、即座に答えてくれました。

祖父のオーさんは、「いくらきつい練習があっても弱音を吐いたことがない。母親が体調を崩したときには、練習から帰ってから自分でユニフォームを洗ってらんだぜの。」と、孫の日頃の姿を、目を細めながら話してくれました。

羽鳥君は、甲子園での目標は「チーム一丸となって一勝することです。」と最後に力強く語ってくれました。

十日町高校は、甲子園球場で行われている全国高校野球選手権大会で、8月10日(金)、県下107校の代表として、高知県代表の明德義塾高校と対戦します。

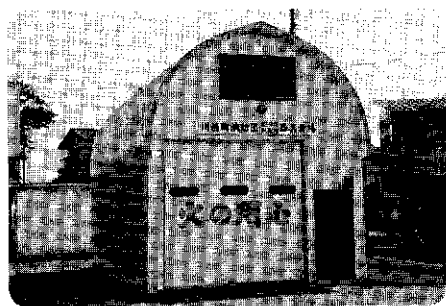
なお、川西町出身の十日町高校野球部部員は、次のとおりです。

(含マネージャー／敬称略)

2年生	上村 和輝	(上野)
	小林 創	(中屋敷)
	羽鳥 裕史	(木落)
	星名 佑太	(中央町)
	山口めぐみ	(仁田)
1年生	蔵品 圭市	(霜条)
	太田 孝政	(中央町)
	樋口 未央	(中仙田)
	根津絵理奈	(元町)

十日町高校優勝までの軌跡

2回戦	4-3	長岡向陵
3回戦	6-5	五 泉
4回戦	5-2	糸魚川白嶺
準々決勝	10-3	柏 崎
準決勝	8-7	新潟明訓
決勝	8-7	日本文理



新しく生まれ変わった器具置場

第一分団消防器具置場新築移転

にぎわい空間創出事業の進展に伴い、第一分団消防器具置場（中央町）が、県道沿いから役場東側に新築移転しました。

安全・安心のまちづくりの拠点として8月6日から運用を開始しましたが、この器具置場は、雪対策を考慮してアーチ型になっています。

車庫ではよく見かける形ですが、消防施設では珍しいこの器具置場、役場を訪れた際にぜひ一見してください。

七月二十日、オープン間もない仙田体験交流館で、人形芝居福丸座「二匹のかえる」の公演が行われました。川西町で初めての一般公演とあって、百人以上の親子が訪れ、心温まる内容の本格的な人形芝居を堪能しました。

人形芝居福丸座を主宰しているのは、昨年東京から仁田に「ターンした井島久志さんで、奥さんの良子さんとふたりで運営しています。

人形操作と語りは主に久志さんが行い、人形作りは良子さんの担当で、まさに二人三脚で各地へ公演を続けています。身を持ち出すようにして見入っていた子どもたちは、親しみのある人形が登場

大人気！人形芝居

七月二十日、オープン間もない仙田体験交流館で、人形芝居福丸座「二匹のかえる」の公演が行われました。

するたびに「わ〜」と歓声をあげたり、わるさをするキャラクターに「やめろ〜」と叫んだりして、すっかり芝居の中に溶け込んでいました。

七月七日に行われた千手温泉の屋根まつり（詳しくはP8「新しい千手温泉は、どんな建物？」をご覧ください。）では、

古式ゆかしき屋根まつり



古式にのっとって行われた千手温泉の屋根まつり

発注者や工事関係者が屋根の上に正座し、特設の祭壇で儀式を行いました。

その際、ふだんはネクタイを締めている人たちも、法被に地下足袋、ヘルメット着用といういでたちになるため、いつもと違う表情になっていました。

とはいえ、この姿がとても似合う人もいて、もう何十年もこの仕事をしているというようにびたつと決まる姿は、古式にのっとっておこなわれた儀式にふさわしいものでした。

お供えものも、海、山の恵みが盛りだくさんで、特に鯛は見たこともないようなとても大きなものでした。あのおいしそうな鯛がその後どうなったのか、とても気になります…。



子どもは前で、大人はうしろで、人形芝居を楽しみました

緑のサヘル代表

高橋一馬さん母校で課外授業

7月24日終業式の午後、上野小学校で、アフリカサヘル地方で緑化活動が続ける、三領出身の高橋一馬さんを招いて「高橋さんのお話を聞く会」と題した課外授業が行われました。

授業では、スライドを交えながら、焼畑農業の話、半年かけて掘った井戸のおかげできれいな水が確保できるようになったこと、現地の子供がよく働くことなどがわかりやすく説明されました。

そのあと、各学年ごとに質問を受けました。「この活動で苦労する点は？」「活動して良かったことは？」「きっかけは？」「これから砂漠がどうなっていくってほしいか？」という突っ込んだ質問に、高橋さんは、「小学生でこんなに難しい質問するんだね。」とびっくりしながら答えていました。最後に、「(ア

フリカの) 彼らが一番望んでいるのは、腹いっぱい食べるという切実なこと。そのためには植林をして緑を取り戻し、彼ら自身で作物をつくる必要があります。ボランティアが植林するのは意味がない。残念ながら、彼らがその意味をまだわかっていないのも現実。自分たちが自分たちの問題として受けとめていかなければいけない。」とまとめました。

高橋さんは、この日右手に包帯を巻いて登場。というのも、



未知の世界を語る高橋さんの話に聞き入る児童たち

全国を自転車であわって支援を求める活動を展開中、盛岡で事故で骨折してしまい前日に退院したばかりだったため。それでも、目を輝かせて話に聞き入る児童を前に、笑顔で話をする高橋さんでした。



お祭りやイベントには多くの人出があります。

参加する人にも主催する人にもそれぞれ表情があり、生き生きとしたまなざしや真剣な態度は、そばにいる人たちを元気づけてくれます。
そんな表情を追ってみました。



「おもしろいことはおもしろい」
「おかしいのはおかしい」
ほんとの表情は美しい

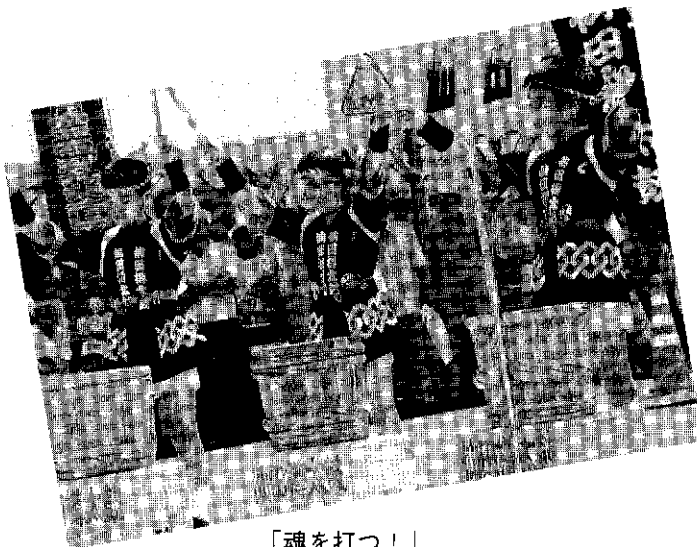
「ひとはゆかたで変わる」
夜店にはゆかたが似合う。「少女」は「乙女」の表情になる



「バチンコをとばしたい！」
その一念は、少年を名工に変える



「忘れ得ぬシーン」
一生忘れない思い出はこんな夜につくられる



「魂を打つ！」
ひとを感動させるのは経験やテクニックではなく「気迫」

スームアップ役場

No.4

遊ぶのも仕事のうち？

いったいこの写真は何をしていますか。



る姿を撮ったものでしょうか。

見たままからいえば、「いい若いもんがジャングジムで遊んでいる。」ということになりますが、実はこれも立派な仕事のひとつです。

町内には多くの公園があり、それぞれ遊具が設置されています。

子どもたちが楽しく遊ぶためには、安全が確保されていることが絶対条件になりますが、これらの遊具に破損がないか、不具合がないかを点検する必要があります。

写真は、「点検とは、まず使ってみること。」と、公園管理を担当する職員がつぶやきながら楽しんで、いや、身をもって強度を試しているところなのです。このあ

と、滑り台の点検では、歓声があがっていたとか。

高出席率 選挙事務打ち合わせ会

今年は選挙があつたつあり、しかも、投票日がわずかに二週間に集中していることから、選挙管理委員会事務局及び選挙事務を担当する職員はその準備に迫られます。

特に、参議院選挙は、今回から非拘束名簿式が導入され、選挙事務が複雑になったことから、いっ

たなく緊張感も高まります。
投・開票事務には大半の職員が動員され、事前に打ち合わせ会が行われます。「迅速・正確」な事務が要求されることから、事務に携わる職員のほとんどが出席して綿密に打ち合わせを行います。

「早朝から深夜まで緊張感を持続させるのが大変そう。」とは、初めて事務に携わる若い女子職員の声。



8月12日(日)は町議会議員一般選挙の投票日です。

選挙は、私たちが政治に参加できる最大の機会です。忘れずに、みんなで投票しましょう。

開票は即日、総合センターで午後9時に開始されます。

開票の中間発表及び選挙結果は、携帯電話等からも見られるように町のホームページで、10分遅れ程度で発表します。

中間発表 ●第1回 午後9時30分 ●第2回 午後9時45分 ●第3回 午後10時
ホームページアドレス <http://www.town.kawanishi.niigata.jp/i/>

善意

(敬称略)

福祉に
丸山 喜一 (木落) 五万円
南雲 一枝 (中央町) 五万円
小海 正雄 (小根岸) 三万円
一般寄付
(株)宮内測量設計事務所 五十万円



かわい俳壇

高崎正風選

葉の蔭の太りし茄子をもぎにけり
下りて行く滝壺までの石の段
霜条 星名 星光
ぐいっと来てすーっと消えし鬼やんま
蛆をお尻に隠し大西瓜
新町新田 若山 向山
梅干すや明日の天気も確かめて
ひまわりの倒れてなおも陽に向きし
野口 村越 由喜
生きて老い生きてなお老い盆供養
叱られてなお水遊びする子かな
練馬区 須藤 遊人
オープンに沸く七月の道の駅
夏草に瀬替の苦勞偲びけり
岩瀬 登坂伊智子
公園に縄張りありて蟬取る子
行水や喜寿の自慢の力瘤
上町 高橋 順似
合歓の花きびしき曇さつづく道
片言の初びぐらしや夕日中
小白倉 田中 優美
梅干して婆は日影に逃れけり
伽羅路を小皿にひとつ晩酌に
山野田 藤田ひろ志
玉の汗孫は野球の日曜日
暑くてもまだまだ負けぬ力かな
八王子市 松浦 サク

休日救急医

8月19日 富田医院
(発電所通西) ☎61-0200
26日 池田医院
(本町西1丁) ☎52-2581
9月2日 大熊内科医院
(山本町) ☎52-7066
9日 山口医院
(袋町中) ☎52-2174
中条病院
(北原) ☎57-3018
15日 第二藤巻医院
(上野) ☎68-2018

風鈴の揺れて涼呼ぶ音色かな
鬼灯市浴衣に鼻緒赤き下駄
田中町 石澤 澄代
垣根めぐりジャスミンの花香りけり
俄雨窓に來ている青蛙
綾瀬市 野沢ますえ
草花の供え絶えざる野の佛
鯛に暮れゆく村の四五戸なか
大倉 中條 石平
香煙の流るる中の盆の供華
緑蔭の五百羅漢に陽のこぼる
足立区 涌井ハル子
炎天のトンボ軍団甲子園
グラジュラス百日草と競い咲く
霜条 蔵品ハツエ
前を行く人の籠より瓜匂う
初蟬や孫にやろうか放そうか
小白倉 江口みゆき
風置いて行きし夏野の通り雨
山百合の花一もの匂ひかな
元町 田畑 吉治
みつばちの次々移る花の数
草刈りの鎌をどぐ手に汗にじむ
室島 高野 チヨ
寸評
下りて行く滝しづきに濡れて
すべり易い石段なのである。
蛆を乗せた西瓜に「蛆が見え
なくなった」という、オーバーと
も思える表現が面白い。
——正風——

子育て支援しています

少子高齢化がさまざまなこ
ろで問題視されています。高齢化
社会を支える社会的な仕組みとし
て「介護保険制度」がスタートし、
「老い」を社会が支える仕組みが
動き出しました。同時に少子化に
ついて「健やか親子21」として、
親子を取り巻く環境を整備する国
民運動計画が示されました。

町では、子育ての環境が変化し
ている中、町の宝である子供たち
が健やかに成長で
きるよう、たとえ
ば、未満児保育の
希望に対して、可
能な限り受け入れ
ることを検討して
いますし、そのた
めの保育園施設の
整備を検討してい
ます。また、これ
まで一歳未満のみ
入院・外来の医療費助成を行って
きましたが、九月より三歳未満ま
で助成対象を引き上げます。更に
入院については就学前の四月一日
までに延長されます。(詳しくは、
八月二十日号お知らせ版をご覧
ください)また、制度のみでなく、
心の健康管理のためのスクールカ
ウンセラーの配置や、地域の子育
てサークルへの活動支援も行って
います。写真は、先日、子育てサ



ークルや保育サポーターの方たち
の協力を得て、「親子遊びの会」
を開催した時の様子です。当日は
四十組もの親子が体育館いっぱい
に走り回り、楽しいひと時をすご
しました。遊びの道具は、新聞紙
と親の体力です。子供たちの笑顔
がとても印象的でした。ぜひ、次
回も計画してほしいとの感想を多
数いただきました。

また、一歳六か月健診と三歳児

健診には、「子育て相談員」におい
でいただき、個別
の相談にのってい
ただいています。
反抗期で子育てに
迷う頃、解決の糸
口が何か見つかれ
ばと願っていま
す。更に、短い健
診時間の中では十

分に相談ができていくことから、
毎月二十日の健康相談日にも相談
に応じています。また当日は遊び
の専門家も招いて、家での遊びの
ヒントもお伝えしたり、お母さん
方の交流の場になれたらと、保健
センターを開放しています。ぜひ
一度お立ち寄りください。
子育てを応援しています。子育
てに迷ったら、一人で考え込まず
に、声をかけてみてください。

戸籍の窓から

高砂一円満に

片桐 保宏 小白倉
 ガロスアルモンテマリルウ フイリピン共和国
 江口 伸一 小白倉
 タヘルラタニオンエドナ フイリピン共和国
 小林 利明 加茂市
 風間 恵利子 中屋敷
 田辺 剛 神社町
 池田 あゆみ 十日町市
 田村 真一 山野田
 大橋 美紀 群馬県
 昇天一ごめい福を祈る
 清水 ミキ 90 (一夫) 上野
 片桐ミヨシ 49 (喜久男) 小白倉

いづれつやの

先月号の「まちの話題」のコーナーでは、狸の話題をとりあげたが、今度は野うさぎのはなし。
 場所は松葉荘裏のしょうぶ園。ここの管理業務に携わっている井川一栄さんが朝の見回りに沢を下っていると、下から野うさぎがびよんびよんびよん：井川さんの前ではたっと立ち止まってあたりを



金子 マツ 80 (守平) 上野
 高橋 徳市 75 (本人) 学校町
 水品 ヒデ 77 (留作) 上野
 小幡 キヨ 89 (信行) 仁田
 丸山孫太郎 85 (喜二) 木落
 今井ウメノ 70 (研二) 仁田
 田村 マス 84 (守平) 鶴吉
 平野 久蔵 95 (治) 四郎兼
 田口 セツ 73 (忠) 木落
 うぶ声—おすこやかに
 小川 竜太 恭司 高平原
 北掘 弘人 紀子 野口
 小林 亮介 義明 中島町
 満智子
 (7月1日、31日届け出順)

きよろきよろ…あたかも、咲きそろったしょうぶの花を愛でているようだったとか。たまたま花を撮るためにカメラを持っていたことから、写真のようなシャッターチャンスをもにすることができたとのこと。熊に狸にうさぎ、だんだん人間に近寄ってきたようだが、いいことなのか、悪いことなのか。もう少し見守りたい。

ところで、このしょうぶ園には、二百三十種類一万株の花が咲き誇っている。「有名なしょうぶ園に劣らない。むしろ周りの環境はこの方がよい。」とは、訪れた人がよく口にする。

隠れた花の名所は、うさぎの方がよく知っているのかも。

ちいさな展覧会

152

橘小学校

「みんななかま」
1年生 全員



「めあての木」
2年生 全員



「おしゃれなとり」
3年生 全員



「光るクワガタ食事中」
4年生 野沢明人くん



「友達」
5年生 野沢法子さん



「わたしのメッセージ」
6年生 佐藤英之くん



(9月号は仙田小学校です)